

# 神経変性疾患における脂質メディエーターの作用機序と創薬への応用

講師；吉川 圭介 先生

埼玉医科大学 医学部 薬理学教室 講師

2019, 10/23 (水) 17:00~18:00

理工学部 共用教育棟207



## 講演会要旨；

興奮毒性は虚血性脳症、アルツハイマー病など種々の神経変性疾患における神経細胞死の基本メカニズムである。また、多発性硬化症（MS）は神経軸索を取り巻くミエリンが破壊される脱髄を特徴とした神経疾患である。演者は生理活性脂質である脂質メディエーターの興奮毒性、MSにおける生理活性解明の解明、また生理活性制御による治療戦略に関する研究を行ってきた。疾患モデル動物を用いた研究結果を説明する。

また最近、食餌性肥満原因遺伝子GPR120受容体の機能不全が神経炎症、海馬神経発達不全、アルツハイマー病などに関わることを明らかとしている。消化管におけるGPR120シグナルと脳内神経炎症に関する腸脳相関についても報告したい。

オーガナイザー；理工学部生命コース、芝 陽子 内線6311

SPERC DDSG